

折に触れ 四字熟語

NO. 275 『塗炭之苦』 とたんの くるしみ

< 意味 > 泥沼にはまり、炭火で焼かれるような、耐え難い苦痛のこと。

< 出典 > 『書経』仲虺之誥ちゅうけいしごう

表 言 : 塗炭之苦を味わう

用 例 : 長い戦乱のために人民は塗炭の苦に喘いでいる。私闘はいかぬ。一日も早く天下の戦乱を根絶して平和な日本にしなければならぬ。秀吉は滂沱たる涙の中で狂うがごとく叫んだというが、胎の中ではく坂口安吾・二流の人>

語 釈 : 「塗炭」は泥沼と炭火のこと。

一 言 : イスラエル軍とハマスの戦いは、やっと休戦が実現し最初の捕虜の交換が実現したようですが、まだまだ収束する見通しではありません。ガザの一般住民は住まいを追われ食料も乏しく塗炭の苦しみの中にあります。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」